



〒975-0031  
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
TEL:(0244)26-1314  
FAX(0244)26-1318  
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

## 令和4年度 第2回特別支援教育体制促進協議会

- 日 時：令和5年2月3日（金） 13：15～15：45
- 会 場：万葉ふれあいセンター（南相馬市鹿島区寺内字迎田22）
- 参加者：相双域内各市町村教育委員会指導主事等17名、各市町村保健師10名、相双保健福祉事務所1名、基幹相談支援センター2名、相談支援相馬事業所1名、特別支援学校地域支援センター担当者3名 合計34名
- 内 容：説明「双葉地区特別支援学校の整備について」（特別支援教育課）  
「今年度の取組状況と課題について」（特別支援教育課）  
報告「今年度の取組状況と課題について」（相双教育事務所）  
協議 1 「各市町村における支援体制整備の状況評価と今後の取組について」  
2 「教育的ニーズに合う学びの場への就学に向けて～保健センターと教育委員会の連携～」

### 【連携の具体例】教育委員会と保健師がペアになり他市町村とグループ協議を実施

- （新地町）保小合同連絡会に、保健福祉部局、保健センターが参加し、情報共有。
- （相馬市）自立支援協議会への参加を通し、気軽に相談。学校訪問時、支援状況の丁寧な聞き取り。
- （南相馬市）幼・保・小接続研修会の実施。就学支援シート活用。ふくしま子どもの心のケアセンターと協力。
- （飯館村）長崎県から医師を招聘し、保護者及び教員への相談の機会を設定。
- （浪江町）町内の幼児の実態・個別の教育支援計画の把握。学校における早期発見・予防的取組の充実。
- （葛尾村）必要な情報はその都度共有。少人数なので、全員を把握可能。
- （双葉町）各担当課が同じフロアに設置され情報共有がスムーズ。教育相談への保健師の参加。
- （大熊町）就学時健診までの情報をリスト化し、教育委員会へ引継。移転に際し就学相談会を複数回実施。
- （富岡町）小・中学校教員を対象として、福祉に関する研修を実施。
- （川内村）こども園と学校の定期的な連絡会議。全員分の個別の支援ファイルを作成・活用。
- （楡葉町）こども課への統合により保健師との協働の推進。入学サポートシートを活用した「入学サポート会議」。
- （広野町）5歳児健診に教育委員会も参加して実態把握。

### 【地域課題】

移住者の増加や家庭支援が必要なケースの増加に伴い、学校だけで支援することに限界があり、関係機関との連携が必要となる。学校が関係機関と連携を進めるためには、教育委員会のコーディネートが求められる。

### 【協議会のまとめ】～担当指導主事より～

各市町村において、それぞれ保健師との連携が図られています。「障がいの有無のみならず、必要な場合は情報を引き継ぎ、子ども達の成長を支えよう。」という取組も増えてきました。また、情報をつなぐ手段としてツールを活用したり、既存の相談支援ファイルのページを活用したりと工夫があります。

市町村の規模にもよりますが、好事例を参考にし合いながら、具体的取組を進めていければと思います。



域内の「相談支援ファイル」。本人・保護者を中心に、支援や配慮の内容を記載し、成人期まで継続して活用するものです。

